

福島教区報

教会数 115ヶ所
 布教所数 105ヶ所
 (R183.11月末現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
 TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

東日本大震災から10年

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、今年で10年目を迎えました。福島県では、最大で震度6強の揺れと津波で大勢の命が奪われ、多くの教会や家屋が被災しました。また、原発事故の影響で、20キロ圏内が全員避難となりました。放射能汚染で風評被害が起こり、さらには避難によって血縁や地縁がバラバラになってしまいました。

また、震災発生直後から福島県内では全国各地より大勢の教友の皆様方が行われてきました。当初は放射能汚染ということで福島県には物資が入って来ませんでした。教会本部を始め全国各地から、水、燃料、食料、衣料、日用品などの「物的支援」をいただきました。燃料がなく避難も地元での救援支援活動も出来ない状態でしたので、ガソリン・軽油・灯油の支援は大変ありがたかったです。その後、災救援の出動や大勢の教友が救援支援ひのきしんに来てくださるようになりました。給水活動、炊き出し、救援物資の手配り、教会

や家屋の修理修繕、津波のあとのガレキ撤去や後片付けなど様々な「人的支援」です。その中、平成23年5月5日には真柱様が磐城平大教会へ災害見舞と激励に、次いで猪苗代川桁の災救援隊宿营地へ激励にと来て下され、勇み心をいただきました。また、7月5日には相馬地区の災救援隊の宿营地に中山はるえ・婦人会長様が激励にお越し下さいました。

平成24年5月30日には福島教務支庁で「教区制度制定110周年記念祭」が執行され、真柱様、はるえ奥様のご臨席を賜り、万感の思いで参集した県内の教信者に大きな復興への力を下さいました。被災を受けた教務支庁の復興の上には数度にわたり教会本部より大きな親心を頂き、形の上で復興をさせて頂くことが出来ました。

あれから10年が経ち、去る3月26日には親里おぢばで岩手、宮城、福島の3教区揃って心を込めて「御礼づとめ」をさせて頂きました。これから新たなスタートを切ります。教会本部を始め大勢の方々の真実と親心にお応えさせて頂くよう、ご恩報じの道をしつかりと歩まさせて頂きたいと存じます。まずは、4月29日の「全教一斉ひのきしんデー」に、報恩感謝の心でひのきしんに励まさせて頂きたいと思えます。

教区長・平澤勇一

地震被害を受け

災害隊出動

2月13日午後11時過ぎ、福島県沖を震源にマグニチュード7.3の地震が発生し、福島県と宮城県で最大震度6強の激しい揺れを観測した。福島教区管内では浜通りや中通りの



12教会で被害が確認されたほか、教務支庁でも壁が落ちるなどの被害があった。

福島教区災害救援ひのきしん隊（生江一行隊長）では、直後よりグループLINEで被害の状況を共有し、翌14日には5名の隊員が福島教務支庁に集まった。そして落ちた壁等の清掃を行うと共に、翌日の出動に備えて、物品の確認等を行った。

15日には、神殿の瓦が落ちるなど、大きな被害を受けた新地町にある福相分教会（目黒浄会長）に5名が急行、荒天の予報が出る中、雨が降り出す前にと屋根に上がり、ブルーシートで瓦が剥がれたりずれたりしたと

ころを覆った。午後から強い風を伴った雨が降り始めたが、一応の応急処置を終えることができた。

19日には、10名で再度、福相分教会へ出動。前回、応急的に張ったブルーシートをいったんはがし、しばらくの間風雨に耐えられるよう、しっかりとブルーシートを張り直した。

また、近所の信者さん宅1件でも屋根にブルーシートをかける作業を行い、大変喜ばれた。

天理教災害救援ひのきしん隊 結成50周年記念大会

「感謝と決意を胸におちばに集結」

結成50周年にあたり、全隊員がおちばに集い、いざという時の自覚を高めつつ、災害の無い世界をご守護いただけるよう、ひのきしんの態度を養い、地域のひのきしん活動の中核となって励むことを誓う場とさせていただきます。

- 立教184年6月27日（日）
- 8時30分 おつとめ（東礼拝場）
- 10時 記念式典
（天理大学杉之内第1体育館）

- 服装 隊服、ヘルメット
- 参加御供 1人500円

青年会

「除雪ひのきしん」に11名参加

福島教区青年会（牛坂直之委員長）では、2月20日、猪苗代分教会で「除雪ひのきしん」を行い、

9名の青年会員、2名のOBが参加した。

昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、様々な活動を



縮小せざるを得ない状況が続いており、青年会として、みんなが一手一つにできる何か良いひのきしんはないかと例会で話し合っていた。教区例会でも、「何かひのきしんできるとお願いしていた。そんな中、以前、先輩方がやったことがある除雪のひのきしんの話を聞き、猪苗代分教会の会長様をお願いして、やらせていただけることとなった。

当日は晴天に恵まれ、着ていた防寒着も脱ぎ、汗を流しながら、屋根の高さまで積もった雪を片づけた。



このひのきしんにより、普段、雪に悩むことなく生活している会員たちは、雪害の深刻さとこの土地に住む方たちの毎日の除雪の大変さを身にかけていた。また、青年会活動に初めて参加した2名の会員と共にひのきしんをできたことも嬉しく思った。
(N・U)

「教区制度制定120周年記念

・青年会総会」開催

立教185年（令和4年）4月30日

来年は教区制度制定120周年の年に当たります。この旬に次代を担う人材の育成に教区を挙げて取り組むことから、福島教区青年会総会を開催します。現在、教区青年会を中心に各部各会と相談しており、詳細が決まり次第、お知らせいたします。お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

教区青年会委員長・牛坂直之

立教184年 全教一斉ひのきしんデー

テーマ「全ようぼく家庭へ声を掛けよう！」

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

福島	福島教務支庁	4月29日	9:30～11:30
安達	霞ヶ城公園	4月29日	10:00～11:30
	みずいろ公園	4月29日	10:00～11:00
郡山	ようぼく家庭周辺で実施	4月29日	
田村	三春町中町駐車場	4月29日	10:00～11:00
耶麻	川桁・熊野神社	4月29日	9:30～11:00
	喜多方市・桜ヶ丘公園	4月29日	9:00～12:00
	坂下・台ノ宮公園	4月29日	10:00～12:00
	猪苗代・亀ヶ城公園	4月29日	13:30～14:30
会津	会津若松市少年の家	4月29日	9:30～11:00
いわき	松ヶ岡公園	4月29日	9:00～12:00
	ようぼく家庭周辺で実施	4月29日	
相双	JR新地駅	4月29日	6:00～7:00

「教区・支部情報ネット」(<https://tenrikyo-regional.net>) (左のQRコードからアクセス出来ます)でも会場を確認できます。また、SNS (フェイスブック、ツイッター、LINE) を通じて情報を共有できます。ぜひ、友人知人への声かけにご利用下さい。



今年度の福島教区教区祭は10月2日に延期になりました。

天理教基礎講座 (福島会場)
 5月30日(日) 田村支部会場
 7月19日(祝) いわき支部会場
 9月5日(日) 福島支部会場
 11月28日(日) 会津支部会場
 各会場13時30分から

少年会「親子でひのきしん」
 【日時】5月30日(日) 午前10時
 (裏磐梯五色沼毘沙門沼駐車場集合)
 【内容】五色沼ハイキングコースのゴミ拾い
 【参加費】一人500円

津大教会 (雅龍会) 慰問演奏会
第3回福島復興支援慰問演奏会
 5月29日(土) 13時30分
 新地町文化交流センター
 5月30日(日) 13時30分
 いわき芸術文化交流館アリオス
 入場無料

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!
[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)